



中津川市財政の健全化への道すじ

合併後、「健全財政を推進するための5つの方針」に沿って

しっかりと仕事をしながら借金を減らしました

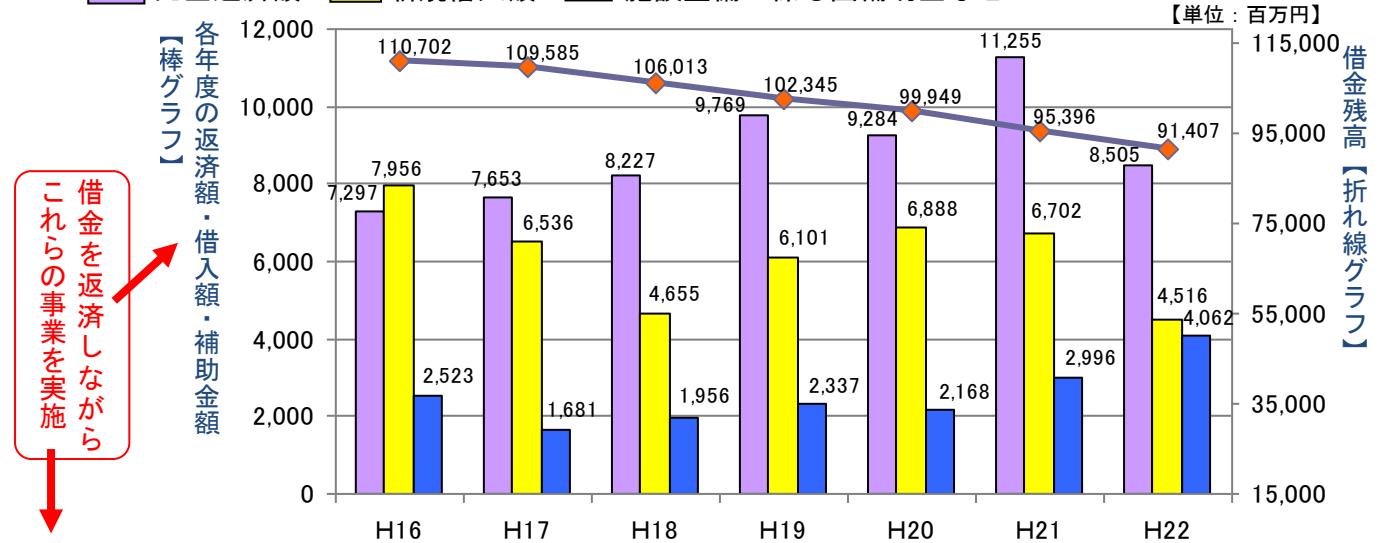
方針1 借金を返す以上に借りません

借金を返す以上に借らないとの方針に沿い、市全体の借金残高を、平成16年度末から平成22年度末までに約193億円減らしてきました。

方針2 国、県の補助金をより多く獲得し、少ない市のお金で事業を実施します

【借金残高の推移と実施してきた主な事業】

元金返済額 新規借入額 施設整備に係る国補助金など

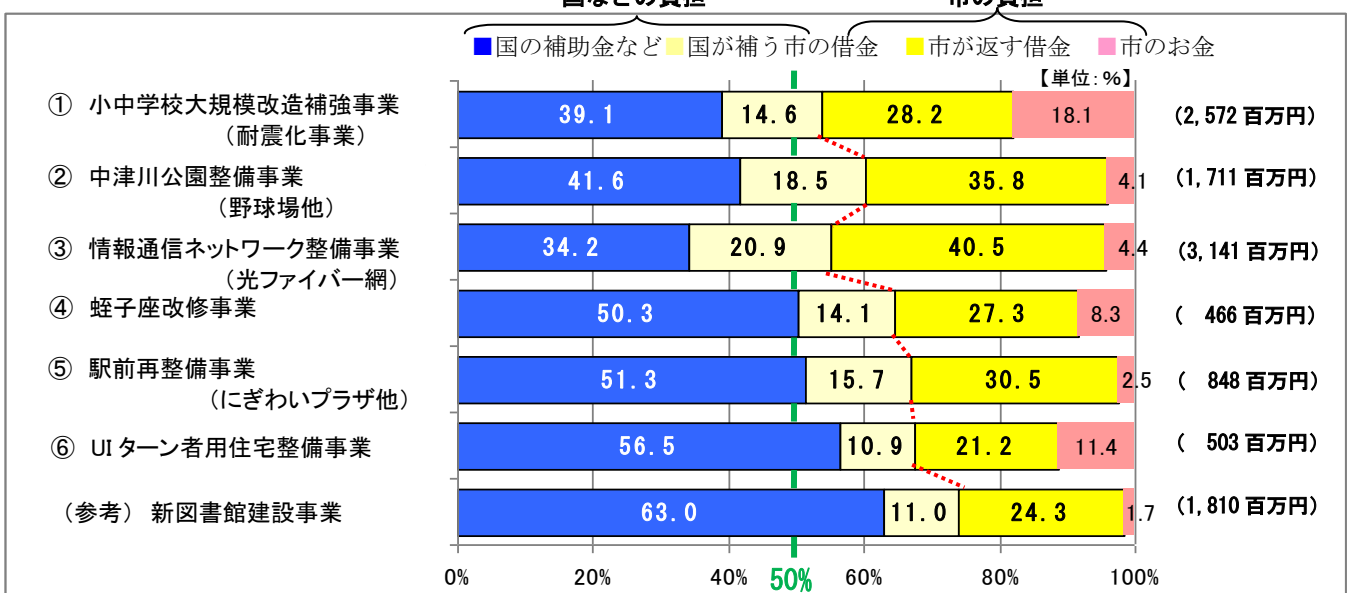


国補助金などを活用した主な事業

【実施年度】

事業名	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
① 小中学校大規模改造補強事業							
② 中津川公園整備事業(野球場他)							
③ 情報通信ネットワーク整備事業							
④ 蛭子座改修事業							
⑤ 駅前再整備事業(にぎわいプラザ他)							
⑥ UIターナー用住宅整備事業							

【財源内訳】

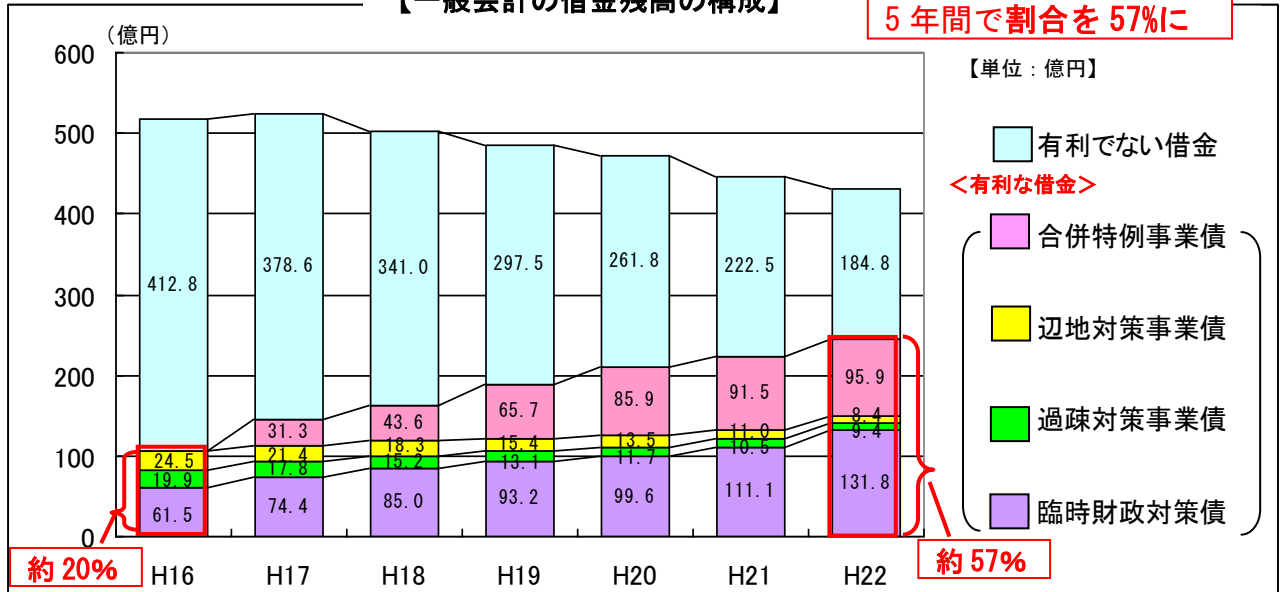


※主な事業の借金は、合併特例債が使われています。(利子は含んでいません。)

方針3 合併特例債など、返す時に国がお金を一部出してくれる有利な借金を活用します

借金残高に占める有利な借金の割合は、合併直後の平成16年度末の約20%から平成22年度末は約57%と大幅に増えています。

【一般会計の借金残高の構成】



※有利な借金とは

同じ借金でも、返す時に国が交付税で出してくれる借金です。
(合併特例債では、当市の場合借金返済額の約35%を国が出してくれます。)

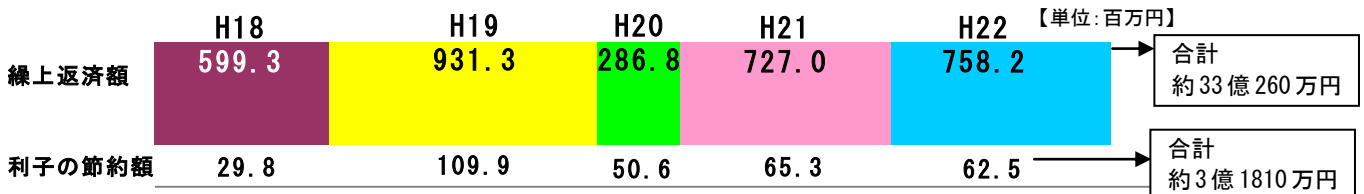
※臨時財政対策債とは

- ・国が市に必要な交付税を配分するお金が不足する場合、不足分を国と市で半分ずつ負担します。
- ・市は「臨時財政対策債」という借金で負担しますが、その返済額は国が交付税で面倒を見てくれます。

方針4 利率の高い借金は、繰上げ返済により早く返します

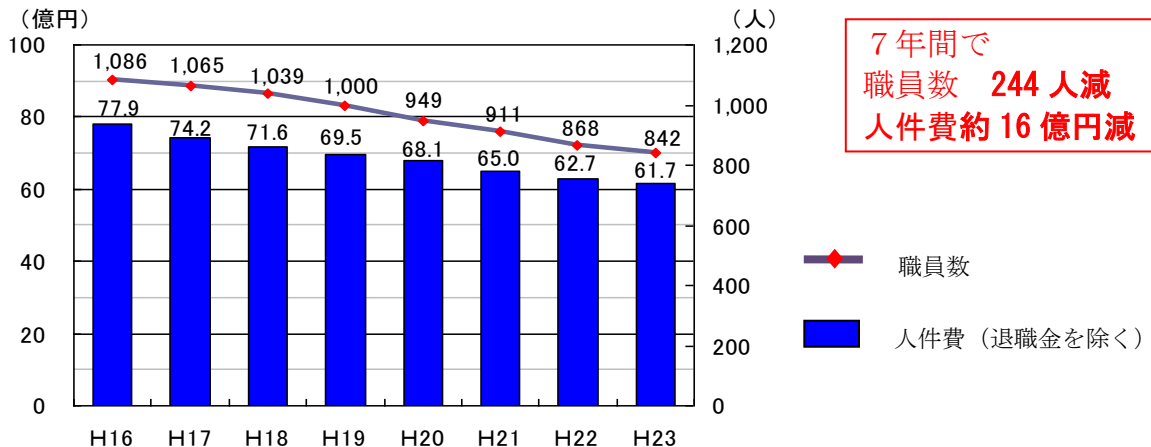
平成18年度から計画的に返済しています。

利子の節約 合計約3億1810万円



方針5 市役所改革を実施し、総人件費を抑制します

計画的な削減により、職員数(特別職、医療機関を除く)を合併直後の1,086人から平成23年度には842人へと244人減少させ、人件費を77.9億円から61.7億円へと約16億円減少させました。



※職員人件費は、平成21年度までは決算額、平成22年度・平成23年度は予算額です。

※職員数は、平成16年度は合併直後、平成17年度以降は年度当初の職員数(特別職、医療機関を除く)です。